

初開催！講演会&哲学対話のシンポジウム

ケニアで生きる女性医師から学ぶ、 「異なる価値観の壁を乗り越える力」

～女性小児科医はなぜケニアに行ったのか？そして社会とどう共生してきたのか？～

フェリックス・パートナーズ株式会社(東京都中央区・代表取締役:宮下篤志)は、立教大学 SFR 共同研究プロジェクト(代表:河野哲也教授)との共催で、ケニアで14年間医療活動を行っている公文和子氏をお迎えして、「～ケニアで生きる医師から学ぶ～異なる価値観の壁を乗り越える力」講演会&哲学対話のシンポジウムを開催します。メディアの皆様のご参加および取材の対応を承っております。

ケニアという異文化体験に限らず、日本における組織や共同体にもそれぞれ固有の価値観が存在し、衝突や同調を繰り返しています。今日のように、変化の激しい外部環境にスピーディーに適応して組織を成長させていくためには、これまでの価値観や慣習などに固執せずに、イノベティブで開かれた姿勢が求められているといえるでしょう。今回のイベントでは、公文医師の講話に続いて、哲学教授が参加者相互で話し合う哲学対話をファシリテートし、「異なる価値観の壁を乗り越える」方法についてご自身の考えを深めていただきます。

【講演者プロフィール】

公文 和子医師



シエラレオネ、カンボジアでの病院勤務を経て、2002年より現在までケニアで活動。国際NGOでの医療活動やJICA(国際協力機構)専門家。また、国レベルにおけるドナー間の調整、現場レベルでのHIV/AIDSに関する人材育成、スラムにおける公衆衛生プログラム等を実施。2014年には障がい児とその家族に対する療育支援を行う施設「シロアムの園」を創立。「シロアムの園」は、歌手のさだまさしさんが設立した一般財団法人「風に立つライオン基金」からも支援を受けている。

【シンポジウム実施概要】

開催日時：7月19日(火) 13時30分～18時00分

会場：立教大学 池袋キャンパス

費用：無料

定員：20名程度

対象者：企業変革に携わる方あるいは変革の必要性を感じている方
地方創生などで地域性の壁を感じる方
グローバル人材育成に関わっている方
障がい者用・女性活躍推進などの企業内の価値観の課題に触れている方
自分自身の生き方・信念について考えてみたい方

講演者：公文和子医師

討論者：立教大学文学部教育学科 河野哲也教授、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 宮下篤志教授

共催：フェリックス・パートナーズ(株)

立教大学 SFR 共同研究プロジェクト (代表：河野哲也教授)

※シンポジウム詳細は添付のチラシをご覧ください。

また、下記哲学対話のブログにも情報を掲載しております。

<http://ameblo.jp/practical-philosophy/archive1-201606.html>

＜プログラム スケジュール＞	
時間(予定)	内容
13:30～14:15	公文和子医師による講演： 「ケニアでの14年間の歩み、 これからの道すじ」(原題)
14:15～15:15	講演者との三者討論
15:15～15:30	休憩
15:30～17:15	哲学対話： テーマ例「異なる価値観を受け入れるとは」
17:15～18:00	クロージング

■お問い合わせ先

フェリックス・パートナーズ株式会社

事務局(箕島)

TEL: 03-5542-1584 E-mail: info@felix-partners.com